



次に、議院に出頭する証人等の旅費及び日当支給規程の一部改正の件であります。これは証人の出頭した日の日当について、本年四月から陳述に要した時間が四時間未満の場合は五百円引き上げて一万二千五百円に、四時間以上の場合は六百円引き上げて一万五千円に改定しようとするものであります。

以上、御報告申し上げます。

○内海委員長 国会議員の歳費、旅費及び手当等に関する法律の一部を改正する法律案、国会議員の秘書の給料等に関する法律の一部を改正する法律案は、本日の本会議において緊急上程する法律案は、本日の本会議において緊急上程するものであります。

〔本号末尾に掲載〕

○内海委員長 それでは、ただいま庶務小委員長から報告のありました小委員会の各案につきまして、順次採決いたします。

○内海委員長 それでは、ただいま庶務小委員長から報告のありました小委員会の各案につきまして、順次採決いたします。

○内海委員長 それでは、ただいま庶務小委員長から報告のありました小委員会の各案につきまして、順次採決いたします。

○内海委員長 御異議なしと認めます。よって、  
○内海委員長 御異議なしと認めます。よって、  
○内海委員長 御異議なしと認めます。よって、  
○内海委員長 御異議なしと認めます。よって、  
○内海委員長 次に、ただいま本委員会提出とす  
るに決定いたしました国会議員の歳費、旅費及び

手当等に関する法律の一部を改正する法律案、国  
会議員の秘書の給料等に関する法律の一部を改正  
する法律案は、本日の本会議において緊急上程す  
るに御異議ありませんか。  
〔「異議なし」と呼び者あり〕

○内海委員長 御異議なしと認めます。よって、  
さよう決定いたしました。

○内海委員長 御異議なしと認めます。よって、  
さよう決定いたしました。

○内海委員長 次に、本日の本会議の議事の順序

について、事務総長の説明を求めます。

○荒尾事務総長 まず最初に、石原慎太郎さんの

議員請願についてお諮りいたします。

○内海委員長 次に、防衛庁設置法及び自衛隊法の一部を改正する法律案につきまして、伊藤国務大臣の趣旨の説明がござります。これに対しまして、社会党の

渡部行雄さん、共産党の柳利夫さんから、それぞれ質疑が行われれます。

○内海委員長 次に、日程第一につきまして、青木文教委員長の報告がございます。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第二につきまして、越智運輸委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第三から第七までの五案についてであります。このうち、日程第六及び第七が委員長提出の議案でありますので、議長から、両案に

ついては委員会の審査を省略することとし、五案を一括議題とすることをお諮りいたします。村田建設委員長の報告及び趣旨弁明がござります。採決は四回に分けて行います。まず日程第三につき採決いたします。全会一致であります。次いで日程第四につき採決いたします。社会党、共産党が反対であります。次いで日程第五につき採決いたします。共産党が反対であります。次いで日程第六及び第七の両案を一括して採決いたします。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第八につきまして、中山地方行政委員長の報告がござります。社会党、公明党、民社党、共産党、新自連が反対であります。

○内海委員長 次に、日程第九及び第十の両案を一括して石井内閣委員長の報告がござります。採決は二回に分

けて行います。まず日程第九につき採決いたします。共産党が反対であります。次いで日程第十につき採決いたします。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第十一につきまして、渡部商工委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第十二につきまして、羽田農林水産委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第十三につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第十四につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第十五につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第十六につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第十七につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第十八につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第十九につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第二十につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第二十一につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第二十二につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第二十三につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第二十四につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第二十五につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第二十六につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第二十七につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第二十八につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第二十九につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第三十につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第三十一につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第三十二につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第三十三につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第三十四につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第三十五につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第三十六につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第三十七につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第三十八につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第三十九につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第四十につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第四十一につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第四十二につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

○内海委員長 次に、日程第四十三につきまして、水野通信委員長の報告がござります。全会一致であります。

時措置法の一部を改正する法律案（建設委員長提出）

奄美群島振興開発特別措置法及び小笠原諸島復興特別措置法の一部を改正する法律の一部を改正する法律案（建設委員長提出）

原諸島復興特別措置法の一部を改正する法律の一部を改正する法律案（建設委員長提出）

地方税法及び納付金に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出）

機械類信用保険法の一部を改正する法律案（内閣提出）

労働省設置法の一部を改正する法律案（内閣提出）

郵政省設置法の一部を改正する法律案（内閣提出）

機械類信用保険法の一部を改正する法律案（内閣提出）

砂糖の価格安定等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出）

放送法第三十七条第二項の規定に基づく改正する法律案（内閣提出）

砂糖の価格安定等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出）

五条の規定にかかわらず、昭和五十八年三月三十日までの間は、特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律（昭和五十六年法律第九十七号）による改正前の特別職の職員の給与に関する法律別表第一に掲げる政務次官の俸給月額に相当する金額とする。

#### 附 則

この法律は、昭和五十七年四月一日から施行する。

2 特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律（昭和五十六年法律第九十七号）の一部を次のように改正する。

附則第一項ただし書中「改正規定」の下に「並びに附則第四項の規定」を加える。

4 政務次官、内閣官房副長官及び総理府総務副長官のうち国会議員から任命されたものの俸給月額は、改正後の法第三条及び別表第一の規定にかかわらず、昭和五十八年三月三十日までの間は、なお従前の例による。

#### 理 由

議員の歳費月額について、昭和五十八年三月三十一日までの間、従前の額に据え置くこととする等の必要がある。これが、この法律案を提出する理由である。

#### 国 会 議 員 の 秘 書 の 給 料 等 に 関 す る 法 律 の 一 部 を 改 正 す る 法 律 案

国会議員の秘書の給料等に関する法律の一  
部を改正する法律

国会議員の秘書の給料等に関する法律（昭和三十二年法律第二百二十八号）の一部を次のように改正する。

第二条の三第一項第四号中「二十年以上」を「二十年以上二十五年未満」に改め、同号の次に次一号を加える。

五 在職期間が二十五年以上の場合 百分の二  
十五

この法律は、昭和五十七年四月一日から施行する。

#### 理 由

在職期間が二十五年以上の国会議員の秘書に対する勤続特別手当の額を改定する必要がある。これが、この法律案を提出する理由である。

議院に出頭する証人等の旅費及び日当支給規程の一部を改正する規程

議院に出頭する証人等の旅費及び日当支給規程の一部を改正する規程

（昭和二十二年九月一日両院議長協議決定）の一部に、「一四、五〇〇円」を「一五、一〇〇円」に改める。

#### 附 則

この規程は、昭和五十七年四月一日から施行する。

議院運営委員会議録第十四号中正誤

ペレ段行 誤

一四七 戸田菊雄君さん 戸田菊雄さん 正

昭和五十七年三月三十一日印刷

昭和五十七年四月一日発行

衆議院事務局

印刷者 大蔵省印刷局

D